

ニュージーランドの小学校・教育省を訪問して

研修実施日；平成25年7月27日～8月2日 研修者氏名；鹿部町立鹿部小学校 工藤 彰子

はじめに

第40回全国連合小学校長会海外教育事情視察団の募集に対し、今年度は第3ブロック（渡島・檜山・函館）から参加者を募ることになった。ねらいは教育改革を先進的に進めている国の状況を視察し、学校経営の糧とし国際理解並びに国際感覚を磨くことである。クライストチャーチ市、ロトルア市、オークランド市の小学校3校と教育省を訪問した。



最大都市オークランドの夜景

1 ニュージーランドについて

南西太平洋に浮かぶ北島と南島の2つの主要な島と小さな島々で構成されている。気候はほぼ全土が西岸海洋性気候で夏は涼しく冬は強烈な寒波もなく1年を通して温暖である。多くのスキー場があり世界各国からスキーヤーが訪れる。南半球に位置するため、日本とは季節が逆になっている。2011年に発生した地震により南島のクライストチャーチ市が大きな被害を受け、石造りの歴史的な建造物である大聖堂が崩壊した。今も進入禁止区域が設けられており、復興に時間を要する見通しとなっている。面積は日本の3分の2程度だが、人口は

	N Z	日 本
面積	約27万km ²	約37万km ²
人口	約440万人 * 2012年NZ統計局調	約1億2740万人 * 2013年日本統計局調
人口密度	16.5人/km ²	333人/km ²
首都 (緯度)	ウェリントン (南緯35度)	東京 (北緯24度)
通貨	ニュージーランド・ドル	円
公用語	英語・マオリ語	日本語

約28分の1と少なく全体的にゆったりと羊が草を食む光景が続く。毎年日本から1万人以上の留学生を受け入れている。

約28分の1と少なく全体的にゆったりと羊が草を食む光景が続く。毎年日本から1万人以上の留学生を受け入れている。

2 教育制度について



オトンガ小学校訪問

教育課程	課程別	学年	年齢
primary school	小学校	1～8	5～12
secondary school	中・高	9～13	13～17
NCEA level 1		★11	15才
NCEA level 2		★12	16才
NCEA level 3		★13	17才
NCEA examinations		学力評価試験	
University	大学他		18才

初等教育制度では5歳～12歳までの就学児が小学校へ在籍する。慣例的に5歳の誕生日を迎えると同時に小学校に通い始めることができる。16才の誕生日を過ぎると義務教育機関は終了しその後は任意進学に切り替わる。「Year (学年) 11」からNCEAと呼ばれる全国統一試験を受験する。この試験は全国統一の評価基準により認定されLevel 3が中等学校での最終評価となる。このNCEAは国際評価としても認定されており、高等教育機関(大学等)への進学、就職、800を超える公的資格への学力証明として利用できる。

3 小学校訪問で説明を受けたこと

- ① 約1000年前にニュージーランドへ渡ってきた先住民族マオリ。芸術や芸能など豊かな文化が受け継がれ、大切に保護されている。訪問先の小学校ではマオリ式の歌やダンスで歓迎を受けた。マオリ語や中国語の授業も小学校で行われていた。
- ② 授業のスタイルは少人数で行われることが多く、異学年同士が混ざり合っただけで学習することもある。
- ③ 学校運営の大きな特徴は【Board Of Trustees】と呼ばれる学校運営協議委員会。保護者の投票によって選ばれた保護者、教員代表、校長で組織され、重要教科である「読む、書く、計算」に関する到達状況、カリキュラムの進行状況、予算、施設等をチェックしている。
- ④ 学校評価は国が定めた基準に基づいて行われ、政府と保護者に報告する。



マオリ式の歌とダンスに感動

4 特徴的な取り組み★感心したこと

各校の校長が経営方針について説明している横で日本語が堪能な児童が通訳をしたり、学校自慢を行っていた。

3番目に訪問した小学校では学校の重点目標を子どもに伝えるため、オリジナルキャラクターを使用。イラストレーターと契約も…。

その学年で学習する内容をもとに**児童自ら**コンピューターで**成績を管理**。主体的な姿勢で学習に取り組んでいた。

寝そべったり、あぐらをかいたり学習中の姿勢は様々。しかし、話を聞く時の**集中力は素晴らしく**私語はほとんどなかった。



算数の学習を行っている低学年

さいごに

旅先で日本の修学旅行生・ホームステイ先を尋ねる予定の高校生たちと出会った。いろいろなことを吸収できる時期に海外での経験を積むことは素晴らしい体験になると思った。ニュージーランドの先住民族であるマオリ族の伝統や精神性が尊重されていると感じることが多くあった。この旅行に参加し、日本全国から集まった14名の校長先生達と親睦を深め情報交換を行うよい機会となった。